

■平成 17 年 8 月 1 日 工事担任者試験制度改正に伴う Q&A

Q1 現在保有している資格者証は、制度改正後も有効ですか？

A1 制度改正前に取得した資格者証（以降の説明の便宜上、「旧資格者証」と言います。）は、改正前の当該種類の工事の範囲において、その名称とともに、改正後においても有効です。
例えば、デジタル第 1 種の資格者証を保有している方は、これまでと同じように、デジタル伝送路設備に端末設備等を接続するための工事や、アナログ第 3 種の工事の範囲に属する工事を行い、または監督することができます。

Q2 既に、アナログ第 1 種とデジタル第 1 種の資格者証の交付を受けています。アナログ・デジタル総合種の資格者証の交付を申請したいと思っています。これまで通り申請できるのでしょうか？

A2 これまでは、アナログ第 1 種とデジタル第 1 種両方の資格者証を交付されている方が、アナログ・デジタル総合種の資格者証の交付を申請する場合、その申請期間については特に定められていませんでした。しかし、今回の制度改正によって、「平成 19 年 10 月 1 日まで」に交付申請を行うよう定められました。

Q3 アナログ・デジタル総合種の資格保有者が、DD 第 1 種の資格者証の交付を受けると、AI・DD 総合種の資格者証の交付を申請することができますと聞きましたが？

A3 次の方は、それぞれ AI・DD 総合種の資格者証の交付を申請することができます。

・アナログ・デジタル総合種と DD 第 1 種両方の資格者証を交付されている方

・アナログ・デジタル総合種の資格者証を交付されており、かつ、DD 第 1 種の試験に合格し資格者証の交付を受けることができる方（試験に合格した日から 3 ヶ月以内に限り）

なお、アナログ第 1 種とデジタル第 1 種の資格者証を交付されている方のアナログ・デジタル総合種の資格者証の交付申請は、平成 19 年 10 月 1 日に、受付が完了しました。

Q4 今回の資格試験の科目内容の主な改正点において、DD 種では新サービスに関する項目を充実したとありますが、具体的にどのようなサービスをいいますか？

A4 DD 種においては、DSL、FTTH などのブロードバンドアクセスサービスや IP 電話、IP-PBX、LAN、ホームネットワークなどが新サービスの充実として追加されました。

Q5 AI・DD 総合種とアナログ・デジタル総合種との相違は何ですか。また、セキュリティ技術の知識や設計・施工・安全管理技術の習得の有無により工事の範囲が変わるのですか？

A5 これまでの工事担任者試験において問われていた内容に加え、セキュリティ技術や設計・施工・安全管理技術および DD 種において問われる IP 系技術等の多岐にわたる知識を有する方が「AI・DD 総合種」といわれる資格者となります。また、工事の範囲については新旧総合種での差異はありません。

Q6 IP 電話等に関する工事は、どの種別の工事範囲に含まれますか？

A6 従来の資格では、信号入出力が 192kbps 以下の場合にはデジタル第三種、それを超える場合はデジタル第一種が必要でした。そのため IP 電話等に関する工事は、デジタル第一種が実質的に必要でしたが、改正後につきましては、100Mbps を超えないものに限り DD 第二種もしくは DD 第三種で工事が可能となります。IP 電話につきましても、インターネットアクセスサービスに付随したものなどについては、DD 第三種で工事が可能です。DD 第二種における範囲としましては、例えば、法人向け IP 電話等があると考えられます。

Q7 工事担任者が行う工事に係る回線設備および端末設備について、従来の資格と改正後の資格における対応関係はどのようになりますか？

A7 (1) 新旧資格と回線設備例の対応表

項目	回線設備例	AI種・DD種						アナログ種・デジタル種					
		AI第1種	AI第2種	AI第3種	DD第1種	DD第2種	DD第3種	アナ第1種	アナ第2種	アナ第3種	デジ第1種	デジ第2種	デジ第3種
1	すべてのアナログ電話回線	○						○					
2	アナログ電話2～50回線	○	○					○	○				
3	アナログ電話1回線	○	○	○				○	○	○	○	○	○
4	すべてのISDN回線	○									○		
5	ISDN一次群インタフェース1～2回線	○	○								○		
6	ISDN基本インタフェース1回線	○	○	○							○	○	○
7	すべてのデジタル回線(ISDN回線を除く)				○						○		
8	DDX等の回線交換のデジタル回線				○	○	○				○	○	
9	100Mbps以下のデジタル回線(ISDNを除く)IP-VPN、広域イーサネット、フレームリレー・セルリレー・ATM等のデジタル回線				○	○					○		
10	100Mbps以下のデジタル回線(主としてインターネット接続のための回線)・FTTH、ADSL等				○	○	○				○		

(2) 新旧資格と端末設備例の対応表

項目	端末設備例	AI種・DD種						アナログ種・デジタル種					
		AI第1種	AI第2種	AI第3種	DD第1種	DD第2種	DD第3種	アナ第1種	アナ第2種	アナ第3種	デジ第1種	デジ第2種	デジ第3種
1	中・大型PBX(アナログ/デジタル)内線数 201 以上	○						○					
2	小型 PBX(アナログ/デジタル)、ボタン電話(アナログ/デジタル)内線数 200 以下	○	○					○	○				
3	ISDN 回線を用いたデータ伝送等	○	○	○							○	○	○
4	電話機、ホームテレホン、FAX 等	○	○	○				○	○	○	○	○	○
5	ISDN 端末等	○	○	○							○	○	○
6	中・大型 IP-PBX				○						○		
7	小型 IP-PBX				○	○					○		
8	IP 電話機				○	○	○				○		
9	データ端末、テレックス端末等				○	○					○	○	○
10	ルータ、LAN、パケット端末、その他回線対応端末				○	○	○				○		
11	ホーム、SOHO 等のルータ/ホーム LAN およびこれに係わる端末				○	○	○				○		

(注) 上記各表において○印を付したもののうち、工事担任者規則第 4 条に規定される各資格者証の種類ごとの工事の範囲内のものに限ります。